

センターだより

第1号

荒砥

発行日：平成27年4月23日

発行所：荒砥地区コミュニティセンター

Tel 85-0260

Fax 85-0263

～新しい地域共同体の未来への創出に向けて～

荒砥地区コミュニティセンター始動！



今年度から、荒砥地区公民館から荒砥地区コミュニティセンターに移行し、4月9日、第1回目の役員会を開催しました。4つの部会ごとに、熱心な話し合いが行なわれました。荒砥地区コミセンは、今までの生涯学習事業に加え、福祉や防災活動を担い、総合的な活動の拠点となります。

詳細の内容については、全戸配布する予定ですので、資料をご覧ください。

就任のご挨拶

荒砥地区コミュニティセンター運営協議会

会長 大木 一男 いちお



この度、すばらしい功績を残され、荒砥地区区長会長の新任になりました。浅学非才な者ではありますが、一生懸命務めさせていただきますので、皆様のご指導とご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、いよいよ新年度になり、公民館からコミセンへ移行しました。少子化時代に伴う地域住民数の減少と高齢化、そして多様化する生活環境などから、課題も多い現状であります。

白鷹町では以前から、「共創のまちづくり」をスローガンに進められてきました。コミセンはその最も大事な手段の一つであろうと思っております。しかし、難しく考えてしまえば何もできなくなります。当面は、今まで行なってきた事業を継承しながら、少しずつ前に進めばよいのではないかと考えています。

選ばれましたセンター長をはじめとする役員の皆様、及び職員の皆様には大変なご苦労をおかけすることになります。頑張っていたいただきたいと思っております。合わせて荒砥地区民の皆様方のよきアドバイザーとしてご協力をよろしくお願い申し上げます、就任のご挨拶といたします。

自助・公助・共助そして近助で支えあう まちづくりを目指して

★地域コミュニティにおいて
重点的に取り組む活動

人づくり

地域づくり

支えあいの
仕組みづくり

★部会名簿★

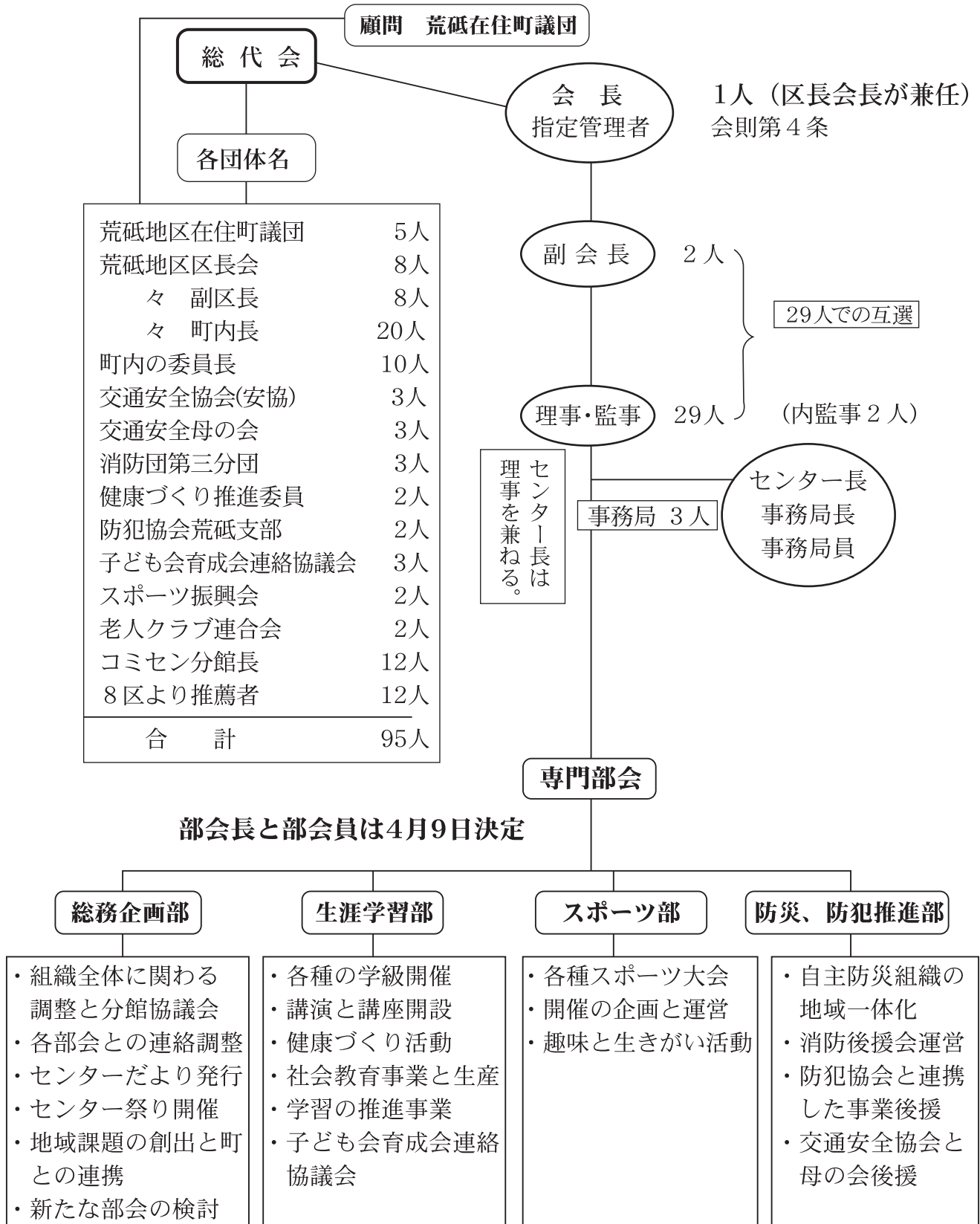
- ★会長 ・大木 一男
- ★副会長 ・塚原 芳明・金子 博
- ★監事 ・和田 敏昭・今野 隆

部会	役員			
総務企画部	部会長	横川 雅浩	竹田 吉衛	工藤 慶味
	副部会長	今野 隆	保科 孝一	吉田 俊治
	副部会長	加藤 裕之	山田 敏弘	
生涯学習部	部会長	新野 優	高橋 秀昭	和田 敏昭
	副部会長	橋本 賢一	後藤 新市	長谷部千晶
	副部会長	椎名登美子	安部 昭	工藤裕一郎
			森 頼富	
スポーツ部	部会長	山口 良浩	菊地 吉昭	
	副部会長	五十嵐清蔵	奥山 祐二	
	副部会長	竹田 雅彦	川村 朋弘	
防災防犯推進部	部会長	衣袋 正人	高橋 康子	
	副部会長	高橋 清吉		
	副部会長	伊勢谷和之		

荒砥地区コミュニティセンター組織図

コミセン運営協議会

組織イメージ図



4月のお知らせ

お申し込みとお問い合わせ
荒砥地区コミュニティセンター(コミセン)
TEL85-0260 FAX85-0263



センターの使用料・冷暖房料のお支払い

使用料・冷暖房料の請求書は、今までどおり発行します。お支払いについては、請求書を持参いただき、センター窓口にて現金でお支払いください。

窓口は 午前8時30分～午後5時15分まで

白鷹東駐在所からのお知らせ

～交通事故には注意しましょう～

これからゴールデンウィークに入り、遠出をされる機会があると思います。

車を運転するときは、交通事故に遭わないように安全運転5則を守りましょう。

- ① 安全速度を必ず守る
- ② カーブの手前でスピードを落とす
- ③ 交差点では必ず安全を確認する
- ④ 一時停止で横断歩行者の安全を守る
- ⑤ 飲酒運転は絶対にしない

長井警察署 84-0110
白鷹東駐在所 85-2046

げんき講座

第1弾

足腰を丈夫にして、健康寿命を延ばし、元気に過ごすための講座です。

- ★日時：5月14日(木) 午後1時30分
- ★場所：荒砥地区コミセン(大ホール)
- ★講師：地域包括支援センター 海老名まゆみ氏
- ★内容：『ロコモ』を知ろう！骨や関節を強化
- ★服装：動きやすい服装と内履き
- ★会費：200円

(終了後、茶話会をします)

- ★申込み：5月11日(月)まで



春の園芸教室

庭先に明るい春の花を・・・

(グリーンカーテンの講習会も行います。)

- ★日時：5月12日(火) 午前10時30分
- ★場所：荒砥地区コミセン
- ★講師：花ショップポピー 斎藤憲昭氏
- ★内容：春の花の寄せ植えのポイントを受講
グリーンカーテンの講習会
- ★材料代：花代は実費です
- ★持ち物：手袋、鉢は持参(購入可)
- ★申込み：5月7日(木)まで



平田地区は今・・・

かつて白鷹町平田地区は、26戸がひとつの集落を形成し、生活ができていましたが、高度経済成長化に伴い、集落としての形はなくなりました。

その後、年に一度平田会として、親睦と交流をしてきました。そして、故郷を思う会員の想いが昨年、48名から寄付金が寄せられ、町づくり事業としての助成

と合わせて、以前の平田公民館の跡地に、公園を造成し、「ソメイヨシノ」「山桜」「しだれ桜」の木が植えられました。

会員の皆さんは、ふるさとへの心の拠り所として、いつでも帰れる場所ができたこと喜んで、同時に、間もなく開花する桜を多くの人に見ていただきたいと願っています。



あとがき・・・

四月から、コミュニティセンターとなり、あわただしい年度始めとなりました。新しい看板が取り付けられ、役員も新体制となり、これから何かと模索していくことになりました。地域の皆様には、ふれあいのある豊かな地域社会の拠点として、これからは、気軽なコミセンを今まで以上に活用していただきたくお願い申し上げます。

がもう